

【睦合南地区】令和5年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時: 令和5年7月13日(木) 午後5時45分～午後7時00分
 会 場: 睦合南公民館 2階集会室
 参加者: 地区の自治会長(12名)、公民館地区館長、
 市長、副市長、教育長、政策部長、市長室長、地区市民センター所長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 小・中学校の適正規模・統廃合の再検討について	
<p>【三家自治会】 ■私は20年ほど前に市P連で活動をしていましたが、その頃から少子化に伴って児童・生徒数は減少傾向にありました。 3年ほど前に、小・中学校の適正規模・適正配置という取組が提示されましたが、適正規模は厚木市で実現可能なものなのでしょうか。このような、意見を二分するような取組は、パブリックコメントなどで市民に広く意見を聴くことも大事ですが、政治主導で決めることはきちんと決めていかないと進まないのではないのでしょうか。</p>	<p>■小・中学校の適正規模・適正配置の取組については、令和3年度に策定した「市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組に関する基本方針」に基づき、子どもたちが快適に学べる質の高い学習環境を整えることを目的に進めています。 また、市立小・中学校においては、学校施設としてだけでなく、地域コミュニティの拠点としても重要な役割があると認識しています。 取組を進めていくに当たっては、関係各方面への影響を考慮し、検討に必要な情報の整理やアンケート調査等のほか、多様な機会を設けて、保護者や地域の皆様の御意見を丁寧にお伺いしながら、市としての方策を定めていく予定です。 最後は政治主導で決めなければならないこともありますが、しっかりと進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 教育総務課)</p>
意見2 災害から命と暮らしを守り抜くまちについて	
<p>【妻田中央自治会】 ■睦合南地区は、小鮎川と中津川に挟まれた地域です。小鮎川については浚渫が進んでいますが、中津川は手付かずの状態、草木が生い茂り、樹木も大きくなっています。 ハザードマップを見ても避難所となる妻田小学校が水没するような地域ですので、防災対策について、具体的な対策をお願いしたいです。防災について政策を出していただけると、安心して生活ができるようになります。</p>	<p>■先日、市内においても大雨により土砂災害のリスクが高まったため、公民館等を自主避難場所として開設をしたところです。 睦合南地区の水害の危険性については、私自身も認識していますので、市民の皆様様の安心安全を守っていくため、地域の特性と災害リスクを踏まえながら、具体的な取組についても、今後示していきます。</p> <p>■相模川や中津川の河川区域が樹林化している箇所については、管理者である県において毎年計画的に伐採を行っているところです。身近な所では対策が進んでいることが分かりづらい部分もありますが、県が樹林化対策を一定程度の面積で順番に行っています。 市においても、皆様が御心配なところは御要望を聴きながら、県にしっかりと伝えていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 危機管理課、河川ふれあい課)</p>
意見3 単身高齢者の安否確認について	
<p>【瀬戸睦自治会】 ■最近、自治会内で単身高齢者が亡くなったケースが2件ありました。そのうち、お一人は、自治会に加入されていない方だったことから、単身高齢者に対する厚木市の安否確認のシステムの仕組みについて気になりました。 避難行動要支援者名簿というものがあることは認識していますが、市で何かお考えがあればお聴きしたいです。</p>	<p>■市では、災害対策基本法に基づき、高齢者や障がい者など災害発生時に自ら避難することが困難で、特に支援が必要となる方について、避難行動要支援者名簿を作成しています。 作成した名簿については、平常時から自主防災隊や民生委員・児童委員などの避難支援等関係者と情報共有することで、災害発生時に、円滑かつ迅速な避難ができるよう、地域における避難支援の体制づくりに努めているところです。 この仕組みをうまく活用できないか研究するとともに、民生委員や地域包括支援センター等としっかりと連携しながら、単身高齢者の見守り等について取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 危機管理課、地域包括ケア推進課)</p>

意見4 自治会加入率の低下について

<p>【三家南自治会】 ■5月の自治連総会で市内の自治会加入率が60%を割り込んだとの情報提供がありました。自治会内でも、高齢で役員ができないことや行事に参加できないことを理由に脱会が増えています。 そんな中、地区内に新築の建て売りの住宅に住み始めた人がいますが、販売店からは自治会加入の案内などがなかったようです。自治会加入の促進について、自治会でも引き続き努力するので、市のサポートもお願いしたいです。</p>	<p>■自治会加入率の低下や自治会役員の担い手不足については、市としても大変危機感を持っています。各自治会においても、お子さんを対象としたイベントを開催し、若い世帯にも参加してもらうことで自治会加入のきっかけづくりをしている地区もあります。 全国的に自治会加入率が低下していますが、災害が発生したときには、自治会が大きな力となりますので、皆様からの御意見を聴きながら加入率を上げるために取り組んでいきます。 転入された方に対しては、開発事業者から自治会の加入についてお願いしていただいているところです。また、宅建協会と不動産協会においても、加盟店舗にて自治会の加入促進に御協力いただいています。</p> <p>《実施日以降の対応状況等》 ■自治会の加入促進に向けた一つの取組として、自治会の負担軽減に努めています。 現在、市からの依頼事項について全庁照会を行い、より効果的な改善方法について、自治会連絡協議会と協議を進めています。 また、自治会費の集金などを始めとする自治会の運営に関する課題については、自治会長の皆様を対象としたアンケートを実施し、他自治会で参考となるような事例・取組を、市全体で共有していきます。</p> <p>(担当課: 市民協働推進課)</p>
--	--

意見5 ごみの戸別収集について

<p>【妻田中央自治会】 ■ごみの戸別収集を行っているとのことですが、その効果と今後どうしていくのかについて教えていただきたいです。</p>	<p>■ごみの戸別収集については、一部の地域で試験的に実施しています。 効果としてプラスの面については、集積所まで行くことがなくなり楽であるとの好評をいただいています。一方、集積所のように鳥対策等ができないため、生ごみを荒らされてごみが散乱するところが散見されています。また、収集の手間という点では、一か所ずつ車を停めて回収するため効率の面でも課題があります。 全市展開については、様々なデータを集めて検証しながら研究していきます。</p> <p>(担当課: 環境事業課)</p>
---	--

意見6 障がい者支援・ヤングケアラー・児童虐待対策について

<p>【瀬戸睦自治会】 ■以前見た施策のチラシで、「障がい者支援・ヤングケアラー・児童虐待対策」という言葉を見ました。是非、この施策は取り組んでほしいと思っています。障がい者支援について具体的な取組をお聴きしたいです。</p>	<p>■近年、障がいを持つ方々からの相談件数は増加しており、障害福祉サービス、健康・医療、権利擁護、就労等に関する内容など、多種多様な相談を受けています。 現在、市では、地域包括ケア社会の実現に向けて、来年度からスタートする「厚木市障がい者福祉計画(第7期)」の策定作業を障がい者の団体など多くの皆様からいろいろな御意見を伺いながら進めています。この計画では、相談支援体制の充実を重点項目と位置づけ、障がい者相談支援センターの専門性の高い相談や、職員の資質の向上に努め、障がい者福祉施策を推進するとともに、更なる「相談支援体制の充実」を図っていきます。</p> <p>(担当課: 障がい福祉課、家庭相談課)</p>
--	---